

FirePass®

Case Study 17

業種: システムインテグレータ

CTC

Challenging Tomorrow's Changes

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

MISSION

- 異なる構成、セキュリティポリシーを持つ2つの旧システムの結合をセキュアに、かつ迅速に行うためのシステム再構築
- アクセス集中時にパフォーマンスを落とさず、メンテナンス時も止めることなく運用できる信頼性の高いインフラの提供

SOLUTION

- 柔軟なリソース制御が可能なSSL VPNの導入でポリシーの異なるネットワークからもセキュアに統一インフラの利用を実現
- BIG-IPとの組み合わせで高いパフォーマンスと柔軟なメンテナンス性を実現

企業合併による異なるシステム環境の統合という大きな課題 BIG-IPとFirePassの導入で統一インフラの提供を 合併後わずかな期間で実現

日常業務にITシステムが深く関与する現在では、企業が合併する際、膨大な情報やリソースを整理し、どれだけ迅速かつ安全に情報システムを統合できるかが大きな課題となる。異なるポリシーで運用されてきたネットワークを統合するためには新たなポリシーの制定が必須であり、統一インフラの提供までには多くの時間を要する。2006年10月に合併した伊藤忠テクノソリューションズはこのタイムラグを可能な限り短縮するため、ネットワークの物理的な完全統合の前にSSL VPNによる統一インフラの提供を取り入れた。そこで活用されているのが、F5ネットワークスのFirePassとBIG-IPだ。



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報システム部
部長
小林 雅弘氏



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報システム部
インフラシステム1課長
高澤 信彦氏



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報システム部
インフラシステム1課
湯澤 康弘氏



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報システム部
インフラシステム1課
柳田 英之氏

会社プロフィール

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
(略称CTC)

〒100-6080 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル
Tel:03-6203-5000 (代)

URL:<http://www.ctc-g.co.jp/>

長年の実績とそれによって培われたノウハウで、業種・業務を問わず最新のソリューションを提供し続け、F5ネットワークス製品の一次代理店としてネットワーク製品、セキュリティ製品の販売、サポートも手がけている。提供する製品の自社内での検証など努力も怠らない。略称として親しまれている「CTC」は行動指針である「Challenging Tomorrow's Changes」を表している。2006年10月に伊藤忠テクノサイエンスとCRCソリューションズが合併し、現在の社名に。

F5 Networks Certified Partner

CTC
Challenging Tomorrow's Changes

FirePassの導入で2つの異なるLANをセキュアに接続 BIG-IPとの併用でパフォーマンス、メンテナンス性にも優れた 共有ネットワークを構築

合併後のネットワーク統合の課題を SSL VPNの導入で克服

伊藤忠テクノサイエンス株式会社 (以下、旧CTC) と株式会社CRCソリューションズ (以下、旧CRC) の強みをあわせ、さらなる飛躍を果たすため2006年10月1日新たに生まれ変わったのが伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (以下、CTC) だ。合併にあたり様々な課題があったが、そのうちのひとつが統一インフラの早期整備と利用開始だった。日々の業務にITシステムが欠かせない現代において、同じ会社の従業員として統一の目的意識を持って活動するためには、同じ業務システムを利用することが欠かせない。しかし、異なるポリシーで運営されていた両社のネットワークをそのまま接続することには大きなリスクがあり、統一のポリシーを設定し、ネットワークを統合、再構築するには多くの時間がかかる。この大きな課題を解決するための手段として今回CTCが選択した答えは、SSL VPNによる段階的、かつセキュアなシステム共有の実現だった。旧CTCでは「eWork@CTC」というITによるワークスタイル改革を提唱し、それに基づく統合システム基盤を取り入れていた。今回同社ではこのeWork@CTCと旧CRCのネットワークとの架け橋として、SSL VPNを選択。情報システム部の小林部長は選択時の背景をこう語ってくれた。「合併による変化を受け入れ新たな環境でビジネスに挑んでいくという社員の気持ちを大切に、できるだけ早く新しいシステムに触れ連携を強化してもらいたい。かといって唐突すぎる変化ではなく、段階を経て新環境になじんでもらいたい。その思いを実現する手段としてSSL VPNが最適だと判断しました。迅速な情報システムの共有を実現してこそ、合併によるシナジー効果を最大限に引き

出せると思ったのです」

両社の強みや良さを活かし相乗効果を引き出し、旧CRCのネットワークから旧CTCのネットワークへのセキュアなアクセス経路を短期間で構築する手段として選択されたのが、F5ネットワークスのSSL VPN製品「FirePass」だった。クライアントレスでセキュアなアクセスを確立できるため、約2000名にのぼる旧CRC従業員のクライアントPCには何も用意する必要がない。柔軟なアクセス制御機能を持ち、必要なアプリケーションのみを順次公開していただけることも選択理由のひとつとなった。また、数あるSSL VPN製品の中からFirePassを選んだ理由には、以前より旧CTCの統合システム基盤「eWork@CTC」のリモートアクセス機能を支える製品としてFirePassが既に取り入れられていた点も大きい。安定稼働の実績はもちろん、設定、運用のノウハウがあり短期間で稼働開始できる見込みがあったことが大きな選択理由となった。

わかりやすい設定画面が 短期間での導入を支える

実際のシステム構築は、2006年後半から2007年の年始にかけて行われた。対象となるユーザが旧CRCの従業員約2000名と多いことと、日々の業務使用に耐える高いパフォーマンスと可用性を求め、最大1000ユーザ同時接続が可能なFirePass 4140 3台を冗長構成にし、さらにBIG-IPを導入している。SSL処理をBIG-IPが代行し、アクセス集中時のパフォーマンス低下を避けられるうえ、メンテナンス性にも優れるシステムとなった。BIG-IPの設定を切り替えるだけでFirePassを個別にネットワークから切り離せるため、業務を止めることなく、かつ安全にファームウェアのアップ

デートや設定変更によるリポートを行えるのだ。設計、構築に携わる情報システム部の湯澤氏は、導入の容易さについても言及する。「GUI画面の使いやすさが設定の助けになりました。私を含めFirePassに初めて触れる者もいたのですが、日本語表示のわかりやすい設定画面のおかげでほとんど迷うことなく設定することができ、今回のような短期間での導入を実現することができました。今後の運用にも不安はありません」

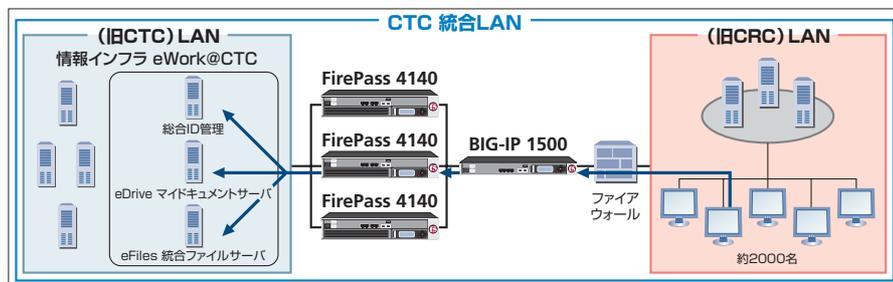
設定画面のわかりやすさと、社内に蓄積されたノウハウにより、導入は非常にスムーズだったという。アカウント管理は、シングルサインオンで利用されていた既存のLDAPに統合され、約2000名にのぼるアカウントの発行、設定も問題にはならなかった。

FirePassは使い方次第で 活用シーンが広がる

現在の新たなCTCが誕生して約2か月という短いタイムラグで、旧CRCのネットワークからeWork@CTCへのアクセスが本格稼働を開始した。導入初期段階の現在はWebアクセス機能による社内ポータル、グループウェアと共有ファイルサーバシステムへのアクセスだ。今回導入したシステムについて情報システム部の高澤課長は次のように説明してくれた。「スムーズに必要なリソースを共有し、互いによく連携して力を発揮していくためには、統一インフラを少しでも早い段階で提供することが非常に重要だと思います。FirePassを導入したことで、短期間ながら非常に安全な運用と使いやすい仕組みを構築できています」

今後は開放するサービスを段階的に増やしていく、ネットワーク完全統合までに段階的に新しいインフラになじむためのプラットフォームとして活用用途を広げていく予定だという。「今回は合併後の迅速なインフラ統合を実現していくための架け橋として2つのネットワークの間でFirePassによるSSL VPNが大きな役割を担ってくれています。短期間で導入できてセキュアなアクセスを柔軟に開放できるうえ、設定次第で様々な使い方ができる製品ですから、今後も使い方次第で活用シーンが広がると考えています」

小林部長は最後にFirePassに対するさらなる期待と厚い信頼を語ってくれた。



F5ネットワークスジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ19階
TEL:03-5114-3210 FAX:03-5114-3201

お問い合わせはF5 First Contactまで: www.f5networks.co.jp/fc/

©2007 F5 Networks, Inc. All rights reserved. F5, F5 Networks, F5のロゴ、および本文中に記載されている製品名は、米国および他の国におけるF5 Networks, Inc.の商標または登録商標です。
●本文中に記載されている製品名、および社名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。



F5製品に関するお問い合わせは F5 Networks Certified Partner



Challenging Tomorrow's Changes

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

<http://www.ctc-g.co.jp/>